

『僕の霸道』



ハッピーな小学生時代

私の学校生活は、友達と遊んでいた記憶が多く、勉強にも前向きに取り組んでいました。ある時、薬を飲み始めることで集中力が高まったと感じ、テストでも100点を取ることができました。

しかし、4年生頃から潔癖症になり始めました。そのきっかけは、家族の中でインフルエンザに罹った人がいたことで、自分以外のものに触れることに対して強い抵抗感を持つようになったからです。特に肌が外部に触れることが気になり始め、そこからパーカーを着ることが習慣になりました。

ティーンズでは、森谷さんから「輪ゴム」飛ばしを覚えてもらったことも良い思い出の一つです。このような出来事が私の学校生活の一部であり、思い出深いものとなっています。

ダメダメな中学校時代

中学1年までは普通に学校に通っていましたが、中学2年から起立性の症状が出始めました。頭痛や倦怠感が強くなり、朝起きるのが辛くなり、それが原因で学校に行くことが難しくなりました。その結果、人との交流が少なくなり、家ではゲームをするか寝ていることが多くなりました。ちょうどその時にコロナ禍が始まり、オンラインで授業を受けられるようになり、少し授業にも参加しました。オンラインの授業は見たまま眠ったことがあり、自分だけが独り残っていたこともありました(笑)

授業に参加することが難しくなり、勉強についていけるか心配になりました。焦りも感じました。

ダメダメからの回復！高校時代

高校に進学してからは、起立性の症状も少し回復して学校にも登校できるようになりました。世間的には立ち直った状態って感じです。高校に入ってから同世代の人と関わる機会が増え、コミュニケーション能力も育ちました。宿泊行事にも参加し、大変でしたが泊まりの活動にも取り組みました。文化祭では企画運営に参加し、うどんの販売をしましたが赤字になってしまいました。

自己採点ではまだまだですが、今はもっと勉強したいと思っています。数学、英語、国語は大学でも必要になるので、特に力を入れています。

大学生活に向けて

大学の進学を決めたのは親の勧めでIT系の大学を選びました。その理由は、「家から近いこと」と「IT系なら自宅でも勤務できる可能性があるから」です。

起立性の症状があるため、今でも朝起きるのが難しいことがあります。「家から近い」大学なら遅刻する可能性が減り、タクシーで通学することもできます。「IT系の大学」でITを学ぶことで、将来テレワークやフレックスで働くことができると思いました。

18年間のモチベーショングラフ



S.Sさん

小学校: 公立小学校 ⇒ 中学校: 私立中学校 ⇒ 高校: 通信制サポート校 ⇒ IT系の大学進学

利用時期: 小学5年生～高校3年生 参加プログラム: 週3日の個別セッション

利用時期: 8年 参加プログラム: 平日セッション

ティーンズで行っていたこと: スタッフとの雑談、面接練習、大学進学準備

長所: ユーモアがある

過去の自分に一言: To be continued